

当院の多焦点眼内レンズ手術が 「先進医療」に



院長補佐・眼科部長
松元 俊

これまで、白内障の手術治療のひとつである「多焦点眼内レンズによる水晶体再建術」は、手術前後の検査料も含めてすべて自己負担（自費診療）で行っていましたが、2017年6月

1日より厚生労働省より「先進医療」として認可されましたので、今後は自己負担分が少し安くなります。

<多焦点眼内レンズ>

通常の保険診療で使う眼内レンズは「単焦点眼内レンズ」と言い、遠くか近くかのどちらかにピントが合いますが、それ以外は眼鏡で調整が必要です。「多焦点眼内レンズ」(図1)は遠くと近くとの2カ所にピントが合うので、眼鏡なしでもピントの合う範囲が広がります。しかし、多焦点眼内レンズは値段が高く、保険診療では使用が認められていないので、患者さんの負担金額が大きいことが最大の欠点です。

<先進医療とは>

日本の保険医療制度では、保険診療で認められていない材料を用いた治療を行うと、その材料の費用だけでなく、その治療に必要な「診察・検査・投薬・手術・入院料等」のすべてが健康保険を使えなくなり、すべての費用が自費になるという決まりがあります。つまり、保険診療と自費診療を

同時に行うことはできないわけです（「混合診療」の禁止）。

しかし、厚生労働省が定めた「高度な医療技術を用いた治療で将来健康保険適用が検討されている技術」については、「先進医療」という名前で例外的に混合診療が認められています。

今回、当院での多焦点眼内レンズを用いた白内障手術が「先進医療」として認められましたので、保険を使えない範囲が先進医療の「多焦点眼内レンズの費用」と「手術料」だけになり、自費診療分の金額が38万円になりました。検査料や入院料などは自費診療と併用して保険が使えますので、3割負担の方で、片眼多焦点眼内レンズ白内障手術の1回の入院につき、自己負担は先進医療分と合わせて合計約42万円になります。入院期間は3泊4日でこれまでと変わりません。

なお、先進医療特約つきの生命保険に加入されている方は、「先進医療」分の費用が保険会社から支払われることとなりますので、事前にご加入の生命保険会社にお問い合わせください。



図1. 多焦点眼内レンズ



もし、あなたや家族が **頭** を打ったら



脳神経外科部長
伊藤 正一

2017年4月から脳神経外科部長を拝命いたしました、伊藤でございます。

この機会に「けんこう家族」を手にとっていただいた方にぜひともお伝えしたことがございます。それは頭を

打ったら、すぐに脳神経外科を受診してほしいということです。

私も脳外科勤務医として36年、務めてまいりましたが、最初のころから現在まで、ずっと変わっていないことがございます。それは頭を打った患者さんが、何日もあるいは2-3週間も経過してみずから心配になり、あるいは誰かに助言されて(おどかさされて?) 外来を受診されることです。皆さまも、頭を打ったら重大な障害を残したり、生命にかかわることがあることは十分にご存知のようですから、「頭のことだから心配になって」と口々におっしゃるのですが、すぐに来られないことが多いのです。意識不明になる大けがや、たくさん出血でもしていれば(そう、頭の傷というのはすごくたくさん血が出るのです) 救急車で運ばれてくるのでしようが、問題はそうでない場合です。どういうわけか、最初のうちは「様子を見てしまう」のですね。

実は頭を打って容体が急に悪くなるのは初めの数時間、長く見積もっても丸1日くらいのことがほとんどなのです。意識不明に陥ってからでは、急いで手術をしても回復しないこともあるのです

から、夜間だろうが週末だろうが、脳外科医が居てCTを撮れる病院に行かなくてはなりません。打った後でもケロッとしていて迷うのでしたら、東京消防庁救急相談(#7119)に電話しましょう。脳外科医がいる病院を教えてください、本当に急ぐのかどうかも教えてください。

なぜか、この世界ではいわゆる「都市伝説」というのが信じられているようです。曰く「コブができれば中身は大丈夫」ですとか、「外に血が出れば中には出ていない」とかいうものです。よく急患室でこういう話を聞きますが、まったくのたらめなので信じてはいけません。もっとも「後頭部を打った時は危ない」というのは本当のようで、大したぶつけ方でもないのに脳挫傷になっていることがあります。

さて、「急いで」という話ばかりでしたが、一つだけ違うお話もいたしましょう。主に高齢の方やお酒をよく呑むような方ですと軽いぶつけ方なのに、1-2ヵ月して脳の表面に血が溜まっていることがあります。慢性硬膜下血腫というものです。高齢の方ですとマヒや言語障害がゆっくり現れ(急変は多くありません)、中年までですとしつこい頭痛になることがあります。頭を打ったことを忘れていると、脳梗塞や認知症と間違えられることもありますので、こういった症状の方はやはりCTを撮りに来ていただきたいです。血腫の量にもよりますが、30分の手術と10日の入院で、たいていは治ります。

苦言を申し上げましたが、ぜひ憶えていただきたいのが『頭を打ったらすぐCT』、これです。



各部門ご挨拶 4月1日に就任しました



放射線科 部長
おおくぼ としゆき
大久保 敏之

はじめまして、本年度より当院放射線科に勤めさせて頂いております。放射線科は診断部門と治療部門とからなります。診断部門では各診療科からのご紹介にもとづきCT、MRI、核医学（アイソトープ）などを用いて病気の診断やその経過観察のための画像を診断専門医が読影しています。治療部門では放射線治療の常勤専門医がCT治療計画装置および治療装置（ライナック= LINAC）を用いた確実に効率の良い放射線治療を行っています。直接患者さんとお話をする機会は少ないですが、各診療科の先生方やコメディカルスタッフの方々と密接な連絡を取り、患者さんの利益が最大になるように丁寧かつ正確な診断、治療を心掛けます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



内視鏡センター
センター長
せきがわ けんいちろう
関川 憲一郎

当院に平成10年に赴任後、好きな内視鏡診断・治療にこれまで長く携わってきました。このたび、消化器内科主任医長と兼務で内視鏡センター長に就任しました。当センターは院内でも比較的贅沢にスペースをいただいております、清潔で快適な空間で優しい医療スタッフが一人一人の患者さんを大事に対応することを目指しています。内視鏡診療は安全、正確なことが最重要ですが、検査を受ける方の身になって辛い検査を心がけています。次回もまた当院で受けていただけるように、またご家族やご友人などにも検査が必要な場合に自信を持ってご紹介いただけるようなセンターにしていきたいと思っております。



リハビリテーション科
医長
たけかわ とおる
竹川 徹

本年4月より当院に勤務、医長を拝命しました。理学療法士11名、作業療法士4名、言語聴覚士2名の体制で、引き続き、必要に応じて適切にリハビリテーションを提供します。

入院では、脳卒中、神経疾患、骨折、各種疾患の術後、腫瘍、摂食・嚥下機能障害が中心です。最近では、長寿の方々や元々障害のある患者さんが増加傾向にあり、早期からの離床を心がけます。

外来では、脳卒中後遺症等に対するボツリヌス毒素治療を積極的に実施しており、豊富な経験を生かし、上下肢痙縮（つっぱり）・かぎ爪様趾への治療を提供します。その他、義肢・装具、失語症、書痙・ジストニアに対する専門治療を実施しています。

今後ともよろしくお願い申し上げます。



薬剤部 部長
なみき みちひろ
並木 路広

4月1日付で、薬剤部長に就任いたしました。病院薬剤師の仕事は、直接患者さんに顔を見せて接する仕事（医師や看護師等と協働して、入院患者さんの薬物治療に関わる病棟薬剤師）と、顔を見せずに「くすり」を介して接する仕事があります。薬袋に入った「くすり」は、処方箋により薬剤師が調剤した、顔を見せない仕事の典型的な例です。この他にも、必要な薬の在庫を確保する、注射薬を調剤し混合する、外来患者さんにお渡しする処方箋の内容を確認する、薬に関する情報を収集するなど、多岐にわたります。薬剤部では、患者さんに安全で良質な薬物治療を提供できるよう、薬剤師一人ひとりが責任を果たしていく所存ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



放射線科 技師長
あさか たかふみ
浅香 崇夫

4月1日付で放射線科技師長に就任いたしました。

私たち診療放射線技師は29名おり、放射線科とIVR科に所属しております。技師としての職務は、検査室から患者さんが退室されるまでは技師の責任であり、患者さんに対して親切・丁寧な対応、安全で安心な検査を心がけています。

また、技師として大事な事は撮影技術の向上です。臨床的価値の無いような画像を撮影しても意味がありません。撮影技術向上の学習にも力を注いで行きます。そして診療放射線技師として患者さんから高い信頼を得られるように努力してまいる所存です。



臨床検査科 技師長
たかはし ゆみこ
高橋 由美子

4月1日付で臨床検査科技師長に就任いたしました。

臨床検査は患者さんから採取された血液、尿、体液を用いて行う検体検査（血液、生化学、免疫、一般、細菌など）と、患者さんの身体機能をみる生理機能検査（心電図、肺機能、超音波、脳波など）の二つに大別されます。外来採血業務も担当しており患者さんの貴重な情報を迅速かつ正確に臨床の場に提供できるよう日々努めております。また日直・当直体制をとり緊急性のある検査や輸血検査にも24時間体制で臨んでいます。

臨床検査科は、患者さんの目に直接触れることの少ないところですが、私たちの働きがあつて本当によかったと患者さんからも認めていただけるような臨床検査科にしたいと思っております。





ご利用案内

診療科

内科、内分泌・代謝内科、血液内科、神経内科、感染症内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科、精神科、外科(乳腺センター)、消化器外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科(関節鏡・スポーツセンター)、婦人科、小児科、眼科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科(ペインクリニック)、緩和ケア内科、歯科口腔外科、救急科、病理診断科

外来診療日

- 月曜日～金曜日(祝日及び年末年始を除く)

予約の方法・予約受付の時間帯等

- 電話での予約…9:00～17:00 (土・日・祝日及び年末年始を除く)
- 電話番号……03-5214-7381

時間外(急患)診療

- 連絡先……03-5214-7768 (救急診療室)

診療受付時間

窓口	午前の診療	8:30～11:00
	午後の診療	12:30～16:00
自動受付機 (予約のある方のみ)		8:00～16:00

人間ドックセンター

- 連絡先……03-5214-7055、7167
- オプションで脳ドック、肺がんドックも行っております。



統合失調症

第3回 生活特徴



精神科部長
亀山 知道

今回は、統合失調症の患者さんに能動型と受動型があることをお話ししました。今回は再発の状況因について、お話し

します。一番よく言われることは、患者さんが薬を勝手にやめてしまった後に再発しやすいということ

で、それは間違いのないのですが、その再発の状況因をまとめると、次のようなことがわかります。統合失調症の再発は、異性にふられて失恋した、配偶者と離婚したなど、異性とのトラブルが原因となること、事業に失敗した、詐欺にあってお金をとられたなど、金銭に関するトラブルが原因となること、人前で恥をかいた、けなされたなど、プライドを傷つけられたことが原因となること、この3つにまとめることができます。これを、「色」、「金」、「メンツ」と呼んでいます。この色、金、メンツを統合失調症の生活特徴と呼んでいますが、ここで重要なのは、生活特徴は再発の状況因となるということだけでなく、逆に、色、金、メンツの問題がうまくいくと病気が良くなり、再発しにくくなるという側面を合わせ持つということなのです。症例を呈示します。

症例P

Pさんは、高校1年の時、幻聴、妄想で発病し、精神科通院治療を開始した患者さんです。当時から物理学を勉強して大学教授になりたいという誇大的な目標がありましたが、大学に合格できず、調子をくずして精神科に半年入院。1年遅れて、

不本意ながら就職しました。精神科に通院し、薬物治療は受けていましたが、毎年2月になると調子をくずし、精神科入退院を3回繰り返しました。仕事は慣れるまで随分時間がかかりましたが、慣れるにつれて実力を発揮するようになってきました。ひと通りの仕事を覚え、自分でもやれやれと思っていた時期に、上司から、「この仕事は君が一番良くできる。新しい人でわからないことがあったら、君に聞くようにさせるから教えてやってほしい。」と言われたのです。上司に誉められ、頼りにされたことで、自信をつけ、さらにがんばろうとやる気をみせるようになりました。その後は調子をくずすこともなく、後輩からも頼りにされています。

この患者さんは、メンツの生活特徴を持つ方で、仕事を覚え自信がついた時に、上司に誉められたこと、実際に後輩から頼りにされたことでプライドが保たれ、安定した症例です。安定する前は、大学受験の時期である2月に、毎年のように再発していましたが、仕事で自信をつけてからは、受験シーズンを迎えても、再発しなくなりました。

このように、色、金、メンツという生活特徴は、再発の状況因となる、患者さんの弱点なわけですが、逆にそういう問題がうまくいくと病気が良くなるという側面を合わせ持っているのです。

統合失調症の患者さんの生活特徴を見定め、その問題にうまく対処することで、幻聴や妄想の再発を防ぐことができます。特に、働き盛りの労働者には、メンツの生活特徴を持っている方が多いので、病み上がりの職員が復職する際、職場上司には、そのプライドを傷つけないような接し方、受け入れ方が求められます。



新任医師紹介

2017年4月1日採用



内科医師
あおき じゅん
青木 淳

今年度4月より内科医として勤務しております、青木淳と申します。誠意を持った診療を心がけて参ります。どうぞ宜しくお願い致します。



内科医師
あべ ゆりえ
安部 佑里恵

4月より内科に勤務いたしました。患者さんに安心できる診療を心がけて参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。



内科医師
えさき みさと
江崎 珠里

患者さんにわかりやすい説明を心がけ、日々の診察に取り組みます。よろしくお願ひいたします。



内科医師
すずき けんいちろう
鈴木 健一郎

丁寧な診療を心がけ、皆様が安心できる医療を提供できるよう取り組んで参ります。宜しくお願い申し上げます。



内科医師
たかおか しんや
高岡 真哉

4月から内科所属となりました。患者さんが安心して診療を受けられるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願ひします。



内科医師
ぬのだ けいち
布田 圭一

4月より内科に勤務いたします。日々の一つ一つの診療を大切に取り組みます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



内科医師
ほんま しこう
本間 志功

患者さんが納得して医療を受けていただけるよう、わかりやすい説明を心がけて参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。



内科医師
まるの さやか
丸野 紗也子

日々の診療に全力を尽くし、患者さんに寄り添った最良の医療を目指します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



神経内科医師
かみさわ あや
神澤 彩

4月より神経内科に赴任しました。患者さんやご家族の不安や疑問に少しでも答えられるよう頑張っ参ります。よろしくお願ひ致します。



腎臓内科医師
さいぐさ はなこ
三枝 華子

4月より腎臓内科に赴任いたしました。患者さんと同じ方向を見つめる医療を心掛けていきたいと考えております。宜しくお願い致します。



外科医師
いしい しゅん
石井 俊

今年4月より外科に赴任しました石井俊です。少しでも患者さんの苦痛を取り除けたらと思います。宜しくお願いします。



呼吸器外科医師
さかい えみ
酒井 絵美

4月から呼吸器外科に赴任にいたしました。痛みの少ない整容性の高い安全な治療を提供して参りたいと思います。よろしくお願ひいたします。



脳神経外科医師
やない けん
矢内 啓

4月から脳神経外科に赴任致しました。脳外科一般や脳血管内治療に関して、お役に立てるよう努めて参ります。お気軽にご相談ください。



整形外科医師
こだま りえ
児玉 理恵

4月より整形外科に赴任いたしました。皆様のお役に立てるよう頑張っ参ります。よろしくお願ひいたします。



整形外科医師
おばた いさむ
小幡 勇

整形外科の小幡と言います。毎週月曜に外来をしています。周りに腰や膝、肩が痛いとおっしゃる方はいませんか。加齢だからと自己判断して医療機関を受診せず症状が持続していませんか。そんな症状の中に治療出来る病態が隠れている事もあります。一人で悩んでいなくてもまずは相談して詳しく調べてみましょう。手術等で症状が改善する余地があるかもしれません。完全に症状を除去する事は出来なくても、少しでも良くなる方法を一緒に考えさせてください。まずは一度月曜日に当科を受診してみてください。あなたの力になれるはずですよ。





眼科医師
あいしんかくら い
愛新覚羅 維

4月から眼科で勤務させて頂くこととなりました愛新覚羅維と申します。患者さん一人一人に合わせて最善の医療を提供できるように頑張ります。宜しくお願い致します。



泌尿器科医師
さと う
佐藤 ゆずり

4月より泌尿器科に赴任いたしました。患者さんが十分に理解、納得して最善の治療を受けることができるよう一助となれましたら幸いです。



放射線科医師
まつざか ゆうき
松坂 優己

医療の質向上のため、正確で早い画像レポートの作成ならびに適切なモダリティでの検査を心掛けております。



麻酔科医師
かわむら けんじ
河村 研人

痛くなく、つらくなく手術を受けられることを目指して麻酔を行います。ご不安なことがあれば何でもご相談下さい。



形成外科医師
ちょう たく
張 卓

誠実に患者さんに対応し、安心した医療を目指すように心掛けて参ります。よろしくお願い致します。



泌尿器科医師
かたばみ ゆき
方波見 有貴

4月より泌尿器科に赴任いたしました。女性の泌尿器科医ですので、男性はもちろん女性の方にも日頃の尿の具合等、気軽にご相談いただければと思います。よろしくお願い致します。



放射線科医師
こだま ひろこ
児玉 紘子

主にCT/MRI検査の結果を報告させて頂きます。丁寧かつ迅速な診断を心がけ、主治医と共に患者さんの診療に携わっていきたいと思っています。



麻酔科医師
まつむら のりこ
松村 典子

本年四月より麻酔科で勤務させて頂く事になりました。安全安心な医療を心がけて参ります。どうぞよろしくお願い致します。

敷地内全面禁煙のお知らせ

当院では、『健康増進法』の「受動喫煙防止」の趣旨を踏まえて、2017年7月1日（土）から病院敷地内全面禁煙といたしました。

外来を受診される方、入院の患者さん、お見舞いに来られる方々など、当院を利用される際には、病院敷地内での喫煙はご遠慮ください。

皆様のご理解ご協力をお願いいたします。



ナースステーション

看護の日

イベントの開催



看護部
質向上委員会 吉永 貴世美

みなさんは看護の日とはどんな日なのか、ご存じでしょうか？1965年に国際看護師協会が、近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日である5月12日を看護の日に制定しました。それをきっかけに、1990年から日本でも看護の日を制定して、看護の心・ケアの心・助け合いの心を分かち合う日としています。

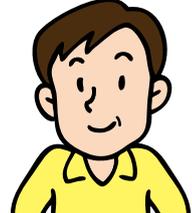
看護部は、コンサートや患者さんとの感動体験の紹介など、様々な企画で看護の日イベントを続けてきましたが、今年は少し趣向を変えて、2つの体験イベントを考えました。ひとつは、「救急蘇生体験」です。救急時初期対応の模擬訓練を見ていただき、その後、看護師とともに訓練用の人形やAEDを使用して救急蘇生の体験をします。『説明を聞いたことはあるけれど、AEDの機械を触るのは初めて』という方や、実際に公共施設などで救急蘇生の場面に遭遇したことがある方など、皆さん興味深くかつ真剣に体験してくださいました。もう一つは、「正しい手洗い体験」です。チェック用のクリームを塗ったあとに手洗いをします。その後ブラックライトに手をかざすと、洗い残しがチェックできます。きれいに洗えていた方も、思いのほか洗い残しが多かった方も、普段の手洗い方法を振り返る良い機会となり、看護師とも会話が弾んでおられました。



今後も、看護師を身近に感じていただけるような看護の日のイベントを企画していきたいと思っております。参加くださった皆さま、ありがとうございました。

人間ドックのおすすめ

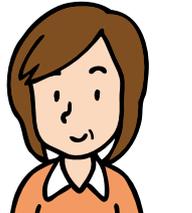
1 年に1回は健康チェック



男性 基本検査

身体測定 呼吸器系 循環器系 腎・尿路系 代謝系	肝・胆道系 消化器系 血液系 炎症・その他	眼科 耳鼻科
--------------------------------------	--------------------------------	-----------

料金 44,300円
追加でオプション検査もございます。



女性 基本検査

身体測定 呼吸器系 循環器系 腎・尿路系 代謝系	肝・胆道系 消化器系 血液系 炎症・その他	眼科 耳鼻科 婦人科(子宮頸がん検診) 外科系(乳房撮影+触診)
--------------------------------------	--------------------------------	---

料金 51,500円
追加でオプション検査もございます。

2 「経鼻内視鏡」について 4月1日から開始

—— 口からの内視鏡検査よりも苦しくありません ——

経鼻内視鏡検査とは、鼻から柔らかい管の先にカメラの付いた内視鏡を挿入し、食道、胃、十二指腸を観察する検査です。いわゆる「胃カメラ」の検査です。潰瘍、炎症、腫瘍、ポリープなどを診断するために行います。

経鼻内視鏡の太さは5.8ミリで、従来の経口内視鏡（9.2ミリ）や鉛筆（7ミリ）より細くなっています。

また、口からの内視鏡ですと、舌の付け根に触れますので咽頭反射が出て苦しくなりがちですが、鼻から（経鼻）の内視鏡検査ですと、舌の付け根にふれることがありませんので咽頭反射が起きないので、比較的楽に検査が受けられます。（図1のとおり）

2015年、「有効性評価に基づく胃がん検診ガイドライン2014年版」が発表され、胃がん検診の方法としてバリウム検査の他に胃内視鏡検査が推奨されています。2016年、厚生労働省も、胃がん検診として胃内視鏡検査を推奨していく方針を発表いたしました。

実際当院人間ドックでは、2016年4月から2016年9月末

までの間の「内視鏡検査」での胃がん発見率は「バリウム検査」に比べ1.89倍と約2倍でした。

人間ドックをご利用いただく場合、まず、ピロリ菌の存在の有無（人間ドックですと「胃がんハイリスク検査」を実施）を調べ、そのリスクによって上手にバリウムと内視鏡検査を使い分けることをお勧めします。

- 内視鏡検査（経鼻）
オプション料金 7,560円（消費税込）
- 内視鏡検査（経口）
オプション料金 5,400円（消費税込）

